

倉敷管弦楽団創立50周年記念祝賀会の開催について（案）

1 祝賀会開催の趣旨

倉敷管弦楽団創立50周年の節目にあたり、長年にわたり楽団を牽引し発展に貢献した団員を表彰するとともに、50年をともに振り返ることで、すべての団員が改めて「倉管への誇り」を感じ、また「地域の音楽文化振興の担い手」であることを再認識し、今後益々の楽団の発展に向け決意を表明する場とするため、倉敷管弦楽団創立50周年記念祝賀会を開催する。

2 祝賀会実施体制

祝賀会を遺漏なく開催するため、楽団内に「倉敷管弦楽団50周年記念祝賀会実行委員会（仮称）」を設置する。※規程案は別添①のとおり

3 祝賀会のイメージ（詳細は実行委員会で検討）

- (1) 開会：司会者による開会宣言で祝賀会を開始
- (2) 祝辞：来賓（倉敷市長を想定）による祝辞（1番手）
- (3) 表彰：長年にわたり楽団を牽引し発展に貢献した団員を表彰
- (4) 乾杯：インスペクター／コンサートマスターによる乾杯（3番手）
- (5) 歓談・食事
- (6) 余興：団員による演奏等
- (7) 歓談・食事
- (8) 閉会：団長による閉会挨拶（2番手）～司会者による閉会宣言で祝賀会を閉会

4 祝賀会の会場（詳細は実行委員会で検討）

来賓を招待する想定であることから、それなりに品格のある会場を選定する。

例）倉敷国際ホテル、倉敷アイビースクエア等

祝賀会は会費制を想定、来賓の会費相当額や設備使用料等不足分を楽団で負担か？

5 表彰等（詳細は実行委員会で検討）

長年にわたり楽団を牽引し発展に貢献した団員を感謝の気持ちを込めて表彰するとともに、特に功績の顕著な団員に称号を贈呈し、顕彰する。

称号贈呈のため、「倉敷管弦楽団称号贈呈規程（仮称）」を制定する。

※規程案は別添②のとおり

6 その他

その他、祝賀会開催に必要な事項は、実行委員会で協議の上、対応する。